

平成24年度第9回 落合第一地区協議会の概要

日 時	平成24年12月4日(水)午後7時10分～9時00分
場 所	落合第一地域センター3階 第一集会室
出席者	委 員:29名 特別出張所:村山所長、佐藤副所長、古泉主査、望月コミュニティ推進員
協議内容	1. 代表挨拶 2. 議事 1)部会からの報告 2)地区協フェスタの報告 3)地区協委員研修(「新宿の森」見学)の報告 4)地域ねこ問題・トラップケージについて 3.その他
配布資料	①-1平成24年度第8回「広報」会議概要 ①-2平成24年度第9回「広報」会議概要 ②平成24年度第7回「安全・安心」会議概要 ③平成24年度第8回「ふるさと落合」会議概要 ④-1平成24年度第8回「みどり・環境」会議概要 ④-2落合第一地区猫分布図(抜粋) ④-3落合第一地区協議会の地域ねこ問題に係る保護用ケージの貸出しに関する取扱要領 ⑤-1平成24年度第6回「落合第一地区協フェスタ実行委員会」会議概要 ⑤-2第4回地区協フェスタの会計報告 ⑤-3第4回地区協フェスタ・アンケート結果 ⑤-4第4回地区協フェスタ・招待者リスト ⑤-5第4回地区協フェスタ・配布結果 ⑥「新宿の森」取組み状況 その他として「戸塚地域ねこ対策会議活動報告」、「NPOと地域との交流事業(落合第一地区)企画案」、「新宿区NPO活動登録団体リスト」

1 代表挨拶

今年最後の全体会にふさわしく、今日はたくさんの委員の皆さんが参加している。本日の役員会で、NPOとの交流事業ということで、地域調整課の方から話をいただいた。今日はこの辺も皆さんに決めていただきたい。以前、区の方からNPOと地区協とで意見交換会をやっていただきたいとの話があった。その日程や内容も決めていきたいと思う。また、先日行った地区協フェスタではそれほど寒くもなく、来場者も少しは昨年より増えた。フェスタに関しても報告する。今日は2時間で終わるかどうか分からないが、皆さん、ご協力をお願いいたします。

2. 議事

1) 部会からの報告

◇広報

『みどりの風第12号』の発行に向けて、フェスタの後すぐに各部に原稿を依頼した。ご協力ありがとうございました。各部から原稿をいただき、只今、校正中だ。12月10日前後に発行予定であるが、その後の配布をどうしようかと考えている。何かお知恵がありましたら後程よろしくお願いします。

◇安全・安心

- i 講演会は3月3日(日)13時45分～16時頃まで地域センター第一集会室A・Bで行うことに決定した。講演の依頼書は代表の印を押していただく必要があり、今、準備をしているところだ。テーマは「防災に強いまちづくり」で、12月発行の『みどりの風』にもスケジュールは掲載していただきたい。
- ii 危険箇所の現状調査は11月12日に下落合地域を13名の参加で実施した。次回は1月22日(火)14時集合なのでご参加をお願いします。
- iii 自転車走行啓発には、無灯火防止キャンペーンを12月に予定していたが、選挙の関係で次回はちょっと間が空いてしまうが、2月22日17時30分集合、18時から聖母坂を予定している。9月19日に行ったキャンペーンの取材は11月19日に放映された。所長が対応しておられるところが映っていた。
- iv 地区協フェスタについては、安全・安心部としては非常食の試食が好評だった。防災用品あっせんのパンフレット、マンション防災対策マニュアル等のパンフレットは非常に多く捌けた。反省点は、DVDの放映を流しながらやったのだが、あらかじめ編集したものを流した方が良かった。全体としては来場者が少なかったという印象がある。フェスタそのもののポスターを特別に作ってはどうか、もう少し目立つようなポスターを工夫した方がいいのではないかと思う。

◇ふるさと落合

クロッチ・マップ配布の追加内容だが、歴博に事務局から送っていただいた。非常に皆さんに好評ということでまた追加ということの話をいただいた。林芙美子記念館、佐伯祐三アトリエにはなくなった時点で歴博からまわしていただけることになっている。配布の一つの事例だが、ふれあいフェスタの時に地区協議会のブースで主査にクロッチ・マップの配布をしていただいた。その時の様子をお話いただきたい。

・主査

10月21日に大きな祭りが戸山公園であり、高田馬場の入り口のすぐそばに地区協のブースをおき各地区協のパネルを置きながら、様々なリーフレット・パンフレットを来場した方に風船と合わせて配布をした。その中で、クロッチ・マップは猫の図柄がかわいいということもあって、子どもさんも含めて来場した方からは好評だった。ああいうイラストで見ただけ、また、落合地域を紹介しているということで、非常に良いものができたねという感想をいただいた。

◇みどり・環境

地区協フェスタの反省と課題については資料をお読みください。地域ねこ問題については、今日の議題にもなっているのでその時に話をしようと思うが、二、三付け加える。部会として取り組んでいきたいトラップケージを地区協として購入することで、地域ねこ問題への取組みの姿勢と地域へのねこ問題に対する啓発活動の一助にできるのではないかということ。前回皆さんに配布した取扱要領から下線部分を少し変えている。また後で説明する。また、概略ではあるが落一地域の猫の分布も配布してい

る。地域ねこ問題については議題として取り上げていただいたので、皆さんに検討していただきたいと思っている。

2) 地区協フェスタの報告

・実行委員長

各部会の方で反省会をしていただき、意見を出していただいた。やはり、来場者について話が出ているようだ。来場者はフェスタを開催する限りは永遠の課題だと思っている。11月30日に実行委員会で反省を行った。ここでも皆さんと同じような意見が出た。フェスタをまた来年度もやるかどうかということで意見を聞いたところ、来年度もやった方がいいのではないかとのことだった。開催については皆さんと相談しながら決めていく。会計報告等は事務局から報告していただく。

・事務局

反省会を行った時の報告があるので見ていただきたい。来場者数はパンフレットを配布した枚数が202枚。実際渡していない、交通少年団の方々や他にもいらしている方がいるのでプラスアルファで、250名弱の方々が地域センターに来場していただいたと思う。決算についても報告を見ていただきたい。広報部会の中にフェスタの予算として391,375円、実際に掛かった支出は305,799円、収入は131,400円。差引174,399円、これがフェスタに掛かった支出になる。次にアンケート結果だが、アンケートの回収が来場者の一割程度だったので何とも言えないのだが、結果としては23枚回収した。内容、項目については昨年と同じだ。次に招待者の一覧だが、実際来られた方には右欄に丸が付いている。最後に、配布物の結果だが、ここにチラシの枚数、ポイントラリーの景品の内訳、バルーン、しおり、はがき等、記載の数を来場者に配布した。残ったものについての活用についてはまたご検討いただければと思う。

・実行委員長

バルーン等が残っている。このバルーンは来年度までとっておくと劣化してしまう。劣化する可能性のあるもの、とっておけないものは地域センターまつりで使ったらどうかという意見が実行委員会で出たが、皆さんの承諾を得たい。センターまつりに地区協として参加するということも考えている。センターまつりに地区協も参加するということでよいか。それもまた実行委員会をたてていく。バルーンとしおり、この2点はセンターまつりの地区協のブースで配るといいか。

・委員

はい。

・司会

地区協フェスタの報告は以上だが、何かご質問等はあるか。

△意見1

地区協フェスタではなかなか人数が集まらないということで毎回、皆で試行錯誤しているが、クロッチ・マップの絵を見て、皆さんが欲しいというのは、地区協に何か応用できるんじゃないかと感じた。地区協フェスタに来ていただきたいのであればやはりポスターをもっと目立つもので、しかも楽しいものを貼ったらどうか。フェスタ当日配布したチラシは見開きにすると結構カラフルですごく行きたいなという分かりやすいものだったので、少しお金を掛けても色を使って楽しそうな雰囲気を出したものを来年はぜひ作ったらいいと思う。

3) 委員研修(「新宿の森」見学)の報告

・副代表

事前に沼田市の方から、寒いので雪が降るかもしれないという連絡が入り、どんな寒さなんだろう、雪が降ったらどうしようといういろいろ考えながら行ったのだが、おかげさまで、良い天気だった。「新宿の森」を何年か前にも見させていただいたが、やはり木の生長というのは遅いんだなと感じた。想像ではもっと大きくなっているかと思っていた。1メートル弱くらいの大きさだった。沼田市役所の方にご案内していただき、いろんな体験もでき、大変有意義な研修会だった。また何かありましたら、来年ぜひたくさんの方が参加していただけたらいいなと思う。

・広報部長

新宿シティハーフマラソンが1月27日に開催されるが、その時に沼田市が源泉をもってきて足湯を行うそう。皆さん、応援かたがた遊びに来てくださいということでしたので、記憶の隅においといてください。

・司会

研修会に参加された方で、ぜひ皆さんに伝えたいということがあればお話をしていただいてもよいが。

・安全・安心部長

樹を植えているのは学校の夏休みを利用して、新宿区民が協力してやっているということですよ。本当に大変なことだと思う。夏の暑い中で活動された方々にも感謝を申し上げたいという気持ちがつくづくした。

■質問1

上の方まで行った人がいたが、あそこはどうなっていたのか。

●回答1

上の方は雑木林だった。あまり手入れしていない森だった。そこから下を見たら、植林した木がぽつんぽつんと元気よく育っているようだった。下草が残っていた。下草刈りが大変だということで、私が副市長に冗談で仔牛等飼ったらどうですかと言ったら、実際、冗談ではなく、そういう案も考えていると、山羊や仔牛を飼ってそこに放つということを真面目に考えているということだった。

・主査

「新宿の森」に初めて行った。柵が周りに張り巡らされているのだが、ゴルフ場の跡地にやっているのすぐ近くに森がある。坂がかなり急できつかった。野生のタヌキとかイタチとかが中に入ってしまった若芽を食べてしまうらしいのでなかなか管理が大変だと聞いている。一本の木を育てるのは大変だなと感じた。

4) 地域ねこ問題・トラップケージについて

・司会

みどり・環境の部長から話をしていただいて、地区協としてどういう方針でいくのか、提案が良ければ、具体的な検討に入りたい。

・みどり・環境部長

地域ねこ問題について議題として挙げていただきありがとうございます。先月の全体会で地域ねこ問題について提案させていただき、今後どのような形でやっていくかということで本日皆さんで話し合っていたことになっている。この前、皆さんに配布した資料はケージの取扱要領というものだった。先日のみどり・環境部会でその点について話し合った。資料をもう一度読み上げさせていただく。①部会として取り組んでいきたい。トラップケージを地区協として購入することで、地域ねこ問題への取組みの姿勢と地域への「ねこ問題」に対する啓発活動の一助にできるのではないかと。②地域にプロテクションケージがあることで活動の

利便性も向上する。③プロテクションケージの管理については、みどり・環境部会が行う。④「地域ねこ」問題の正しい理解と啓発のため、セミナーやチラシ等を活用し、地域への更なる理解の輪を広げる必要がある。この点で先程言ったように、皆さんにお配りした取扱要領を一部訂正した。資料④-3の下線部分だが、最初、落合第一地区協議会を以下「地区協議会」というところは言葉上の問題だけだ。真ん中より少し下の使用上の注意は、「速やかに落合特別出張所に連絡すること」を「速やかに管理者または落合特別出張所内事務局に連絡すること」とした。また、返却方法の後に、管理等という一文を設けて、「ケージの管理については地区協議会のみどり・環境部会(管理者)が管理し、貸し出すものとする。また、ケージの貸出状況等について、地区協議会に報告するものとする。」とした。それから、先月の全体会で、他の地区協議会ではどのようなやり方をしているかということのことだったが、その例として、「戸塚地区地域ねこ対策会議活動報告」をお配りした。これは地区協の内部に委員を設けて、プロジェクトチームの形でやっているようだ。設立理由の具体的取り組みとして、「地域全体で取り組むため、戸塚地区協議会の課題別地域会議として位置付けた」となっている。みどり・環境部会の中でプロジェクトチームのような形である程度この地域ねこ対策をやっていきたくて考えている。先月提案した部分と今話した部分と少し変更があるが、今後この地区協として、みどり・環境部会がこのようなことをやることに関して皆さんのご意見を伺っていきたくて思っている。資料④-2に「猫分布図」があるが、これは表である。このようなところにだいたいこのくらいの数の猫がいるということ、今まで活動してきた関委員を中心とするグループの方々がまとめたものだ。これも参考にさせていただきたい。最終的にどのような形になるにしろ、このねこ問題対策というのが環境ということを考えて時、例えば、私もちょっと関わっている緑の問題で、タヌキの森の問題というのがあるのだが、緑をどのように増やすか、またはマンション問題等にも関わってくると思うが、そこにタヌキの問題もある。そのタヌキの問題、実は、地域ねこ対策の方々にとっては問題で、タヌキに邪魔されて猫をうまく捕獲したりできないということを対策活動報告書にでかでかとして書いてあった。つまり、一つの緑の問題を考えるにしても緑を自然を守るためにはタヌキを守らなくてはならないとか、またはそのタヌキを守るとタヌキが増えてきて今度は逆に猫とか犬とかふつうにペットとしてかわいがっているものに対して、いろんな問題が出てくるとか、こちらを立てればこちらが立たずではないのだが、なかなか一筋縄ではいかない面はたぶんあると思う。どうしても、野良猫対策をする時に、避妊手術等をしなくてはいけない。そのためにはやはり保健所からお金がでるとしても全額出してくれるわけではないので、その辺のお金をどうするか、例えば、戸塚地区は募金活動で行っている。われわれはこのようにしたいからこのようにお願いしますと最終的にまだ決まっていないので、これも皆さんの意見を聞きながらやっていこうと思っている。お金の掛かる問題、実際に飼っている人たちに対してどのようなことをしていくか、これも以前セミナーで話があったと思うが、野良猫対策では、一方で飼っている人たちに対してどのような飼い方をするのが正しいのか、つまり野良猫にならないようにするにはどうしたらよいか。それに付随して、野良猫をかわいがっている人がいる、エサをあげている人がいる、そういうエサをあげている人に対してどんなふうにしていけばいいのか、その辺のいろんな問題が出てくるのだが、全体総合的に地域の問題として皆さんと一緒に考えていきたい。方向性や、やり方としてどうしていくかを今後考えていきたい。みどり・環境の中にプロジェクトチームのような形で専門的にそれをやっていこうということを考えているので皆さんでお話したい。

■質問1

資料の中で確認したい部分がある。トラップケージ、プロテクションケージ、捕獲トラップといろいろあるようだが、これは全部同じものか。プロテクションケージが正解なのか。

●回答1

プロテクションケージでよい。

■質問2

それからもう一点。資料④-2。私が住んでいるのは中落合2丁目だが、11月現在という欄の中落合公園周辺となっているのだが中落合公園は1丁目にあり、下の3丁目の西坂公園がこの上の中落合2丁目に入るのではないかと思うのだが。

●回答2)

はい。上にあげてください。

■質問3)

ということは、数の欄の20は消え、合計500が480になるということか。

●回答3

はい。そうだ。

■質問4

この数というのはどのような調べ方をしたのか。

●回答4

これは、下落合知久会等いろんな町会が入っているのだが、だいたい猫の取組みに入っている方々の情報と現地調査だ。実際には抜粋されているのもう少し多いかなという感じはする。ただ、手術をしている数でいうとこの半分の260くらいは終わっているが、その間にまた産まれており、死んでは産まれるの繰り返しでほぼこのくらいだということだ。止めなければ来年の春に同じくらい増える。増やさないために、メスを捕獲して、手術をして来年の出産を抑えている状態だ。今やらなければ、また元の木阿弥だ。緑に関して、公園や森の周辺だが、公園には公園サポーターさんたちがいらっしやって、そのサポーターさんたちからも大変猫が多いと、他の動物もいるが、公園の美化を守るために一緒に何かできることはないでしょうかというような話を受けていて、一緒に、昼見る猫、夜見る猫、朝見る猫ということでトータルするとこのくらいの数になる。また、今、相馬坂に入っているのだが、今現在50匹のうち30匹は捕獲と譲渡が終わっている。あと半分というところで12月、1月にかけて、この地域にお住まいの皆さんのご協力を得て手術をする予定だ。また、上落合の東部町会は殆ど終わっている。木島病院の周辺が線路際の方が少し増えているのだが、今はおとめ山の方に入っているので後回しという状況であり、増える可能性があるかなと懸念している。

・司会

本日は皆さんに意見を出していただくことになっている。前回の全体会の中でねこ問題について地区協としてどう関わるかという話があり、今みどり・環境がやっているような方向でいいという結論が出せれば、具体的な細かな点についてももう少し詰めて実際にスタートということになると思う。こういった形で地区協として取り組んでいきたいと先程も話があったが、我々だけでは人数が足りないということもあって、ねこ問題に対応している方々でご希望があれば地区協に入っていただき、ねこ問題PTの中の委員として活動していただくのもいいのではないかという話があった。地区協がトラップケージを購入するのはいいのだが、手術代の費用等について、今後まだ詰めなければいけない点はいろいろある。まずは、地域の問題として、地区協が解決していこうということの取組みだから、絶対いやだという人はいないと思うが、その辺に対する皆さんのご意見をいただいて、ぜひやるべきだ、あるいは、もう少し時期をみるべきだというようないろいろな意見があればここでお聞かせいただいて、次のステップに行きたいと思う。

■質問5

落一地区に関して、ねこ問題を専門的にやっていらっしゃる方はどのくらいの方でやっているのか。

●回答5

猫の糞で困っている方、猫にエサを与えている方、いろんな方がいらっちゃって、個人的にこの活動をやっている方が多数いる。各町会長さんに話をしに随分行かれているようだ。喫茶店などに集まって話をされていたり、他にもいろんな場所を設けながら情報交換をしている。一番問題なのは、一人暮らしの高齢の方が避妊手術をしないでどんどん増やしているというパターンが多いこと。そういう方に猫の手術をしなければ地域の皆さんも困るという説得をしながら手術の了解を得て、手術をする、もしくは譲渡するという形だ。声掛けをすると、各町会に二つ三つ四つというように少なからずグループがある。昨日、こちらの3階で打合せをした。気が付く方は気が付くが、気が付かない方は気が付かない。やはりこれは大きな問題だということで、いろんな方に聞いたら、地区協で猫のことをやっていると聞いたので来たんだということだった。ではどうなるんだという話をされたが、今は広報活動で、次のステップはまだこれからだ。トラップケージを購入して、地区協が地域ねこ活動の啓発になると、もっと皆さんが声をあげてきてくださると思う。私が捕獲等に入っているところも、だいたい個人のお宅なのだが、そのお宅でも実費で出してくださったり、グループで出してくださったりしている。了解が得られれば、お名前も出せるかなと思う。詳しいことは、活動報告書というのがあり、お渡しするのでご覧になっていただければいいかなと思う。猫の会として立ち上がっているのは、下落合東町会と上落合東部町会、あと、みどり町会だろうか中井駅のところなど。名前を出さなくてくれという形で動いているところはかなり数があるかと思う。はっきりした数は保健所の方に申請している数を見ると分かるので後日示せると思う。

■質問6

取扱要領の中にケージの貸出は1か月以内とするところがあるのだが、貸出し用に購入するのはいくつくらいを考えているのか。皆さん一斉に来る時期があるのではないか。

●回答6

ケージが2.6キログラムと大きく、また花園神社の裏にあるので、それを借りに行くだけでお金も掛かるし労力も掛かる。自転車で行かれる方もいるが、大変だという話で、ケージがこの地区にあると助かるという方がいらっしゃる。購入しようかといっても一匹、二匹捕まえるために1万円くらいするものを購入するものということもある。ねこを捕まえるのに、保健所の衛生課まで行かなくても、ここに来ればこの地域のねこは捕獲できるんだというように使えたらいいと思う。

・みどり・環境部長

みどり・環境部会に人数がいるのかという先程の質問だが、はっきり言って今現在いません。今後、皆さんの承認を得られれば、プロジェクトチームをつくって少しずつ人を増やしていき、皆さんの協力もいただきながらやっていこうと思っている。すべてこれからである。いろいろやっていきながら進めていきたいと思っている。

△意見1

戸塚地区のこの活動報告の中に、委員数30名とあるのだが、この委員の中に地区協の人も入っているのか分からない。町会関係者とか地域ねこの懇談会とかいろいろあるが、こういった人たちを別途招集してプロジェクトのような形で進めていくのか、オブザーバーとして新宿区の衛生課が、事務局はあくまでも地区協の事務局が行うという形になっていくのか、このねこ問題というのはなかなか難しいと思う。地区協の委

員を増やすことでさえ大変だと思う。だが、一番問題になるのは、猫を捕まえて避妊させる費用だ。例えば、ケージだけ地区協で貸して、捕獲しても、手術費用は区の方でもてる額は全額とはいかないからその差額はどこから出すのか。そこまで考えないといけない。高齢者にとってもケージは重いから落し出張所があれば便利だが、地区協がやっていますということになったら、では費用も出すのかなと誤解を生じやすいと思う。やることはとても良いことだと思うが、やはりそこまで考えなければいけない。購入することだけが地区協の問題ではなく、後まで面倒がみられるような形の進め方をしていった方がいい。

○意見1に対する返答

費用はどうするかという話だが、地区協の予算は全部税金、保健所も税金、税金の二度使いはできない。基本的には地区協議会から地区協議会の予算の中で去勢の費用は基本的には出せない。それははっきりしている。ケージはあくまで備品という考えで部会では話している。

△意見2

地区協が何故そこまでやらなければならないのかとずっと思っていた。猫を何とかしてほしいという要望をするのが地区協であって、実際に地区協がやるというのはどうなのか。保健所にケージがあって、それを借りに行くのが大変だという話であるならば、ここの保健センターにケージを購入していただいて管理していただくということではできないのか。

○意見2に対する返答(事務局)

保健センターの事業については区民の健康管理が主であり、猫については衛生課が担当である。保健所は新宿区に一区所、花園神社裏の第二分庁舎にしかない。それを保健センターにもっていくというのは、今の中では難しい。

△意見3

私が一番心配していることは、落四小と落中の中の道の角の小さな広場で定時に朝晩エサをやっている人がいる。その人に、避妊した猫にエサをやっているのかどうかそういうことを我々が言うことはなかなか厳しい。そういう場合は、前は区の方が来てお話していただけるという話はきいたことがあるのだが。やはり、我々が直接そういう方に注意することは現実問題としてできないと思う。ですから、この問題は地区協の仕事の一つとして取り上げることに私は非常に消極的だ。

△意見4

先程もちよっと触れたが、地域ねこ問題というのは、飼っている方がどのように野良猫にしないようにするのか、それから、今おっしゃったように、野良猫をすごくかわいがっている方々がいらっしゃる、そういう方々に対して野良猫を増やさないようにこのようにした方がいい、あのようにした方がいいと、どのように啓蒙していくかということも含まれている。野良猫がいることによって糞尿だとか、盛りがついたときの鳴き声だとか周りの迷惑になることがある。幸い私の家の周りにはそういうことがあまりないので、今まで実際そういうことが問題になっていることは知らなかった。つまり地域的にいろんな場所があって、非常に問題になっているところが地域の中にはあるということだ。やはり、そういう問題は少しずつ解決していこうというのが私たち地区協の問題意識として必要ではないかと思う。今現在、人数が足りないが、専門的にやっている人も増やしたいし、われわれの間でいろいろ協力しあってできることをやっていこうということもあるし、まだ名前は出せないけれども協力していただけるようなお医者さんもいるという話も聞いている。輪を広げていく、また、そういう方々を地区協の中に入れていって員を増やすということも、活動の輪を広げていくということも一つの何分の一かの目的でもあるかもしれない。

△意見5

この戸塚地区の活動報告を見ると、平成19年から活動をしているようなので、このように先にやったところを参考にして、地区協でねこ対策に取り組もうといった気持ちがあれば、それをまず啓発していくこと、知らせていくことが大事だと思う。もちろんケージを購入するののも一つの方法だが、ちょっと焦っているような気がする。まずは地域の人に理解と啓発をするのが第一だと思うので、それに伴って、いろんなことが進んで行く方がいいと思う。「犬と猫と人間と」の上映会等を行うと、気になっている人はいらっしやるし、そこからいろいろ広まっていくことがあるので、そちらを先にやったらどうかと思う。

△意見6

この「犬と猫と人間と」を私は戸塚に見に行っている。この方は映画が出来る前に亡くなってしまった。自分の私財を投じ、この人だったら真実を実態を映像にしてくれるという人に監督を頼んだ。ここにいるメンバーは私も含めてあまりにも知らな過ぎるので、いろんなところから勉強してみて、地域問題として、私たちが関わるべきなのかべきではないのか、結論はもう少し先でいいのではないか。ここで地区協のやるべき問題ではないと簡単には言えないと思う。地域問題はやらなくてはいけない。慎重にいきたいと思う。

■質問7

野良猫とペットとして飼っている猫とのトラブルは今までなかったのか。例えば、ペットを捕まえて、その家族が分からずに手術してしまったとか、そういうことはなかったのか。飼猫なのか野良猫なのかなかなか分からないと思うのだが、そのような体験があったら教えていただきたい。

●回答7

野良猫を捕まえるというのは、あの猫とあの猫とあの猫は野良猫だということで地域の方の声が上がったところに行く。飼猫であれば、あの白い猫はどこどこさん家の猫なんだけどすごく外に出ていて子猫を産んでしまっでは困ると、だけど、その家に何を言っても聞き入れてもらえないと。そういう方には事情を話して、産まれてしまった猫は譲渡しましょうと話す。飼猫か飼猫でないか地域の方に、あの猫は本当に野良猫で飼い主の方はいらっしやらないんですねと確認をとった上で進めていくのでトラブルはない。ただ、野良猫にエサを与えている人が、自分の猫だと思っているんだけど手術をしない、それで手術をすると非常に怒るという事例が一回あった。

△意見7

やはり、必要は必要だと思うが、費用の算出が問題になってくると思う。戸塚地区の報告書にも書いてあるように、バザーをやったり寄付を募ったり、その段階まで落一地区の中で固めて、そういった方向に地域の皆様に動いていただけるようなものを作っていくことが大事だと思う。

△意見8

猫の問題で困っているという地域の方の苦労や悩みは分かるのだが、エサを与えている人は特定できるのではないかと。たぶん、そういう方に話をすることはできないものかと思った。実際、野良猫をケージを使って捕獲するという提案が出されているが、物理的にその管理を誰がどうするのかということも心配だ。先程、区の方は保健センターはそういうことは管轄ではないとおっしゃっていたが、逆にこういう困ったことがあるのであれば、地区協から提案すればいいのでは。区から税金はいただいているかもしれないが、何のために集まっている集まりなんだろうかととても疑問で、そういった苦言を提案していくというのが必要だし、そうでないと何も前進しない。ただ集まって、無理だよねとか、時間ばかりが過ぎていく感じがすごくする。具体的に何か提案していくということ、また入り口が違くと受け入れる体制が違っていくということも往々にして

あるのではないかと思います。物理的に私たちが時間を割いて何か活動するのはいいのだが、皆さんこれだけのメンバーが集まっていて、知恵も人脈もあるのだから、効率良く出来ることをもう少しディベートした上で結論を出したら良いと思う。

・司会

みどり・環境部会で検討していただいている内容は皆さんよく分かっていると思う。ここでいきなりノーだとかイエスだとかは言うつもりはないのだが、みどり・環境部会でもう少し詰めるところ、費用の問題だとか、委員が何人くらい増えればいいのか、あるいは委員の中からそういうPTだったら入ってもいいよという人がいるかどうか、そういったおおよその見込みがあれば考えようがあるのではないかと思います。今現時点でどちらかというところとちょっと時期が早いかなという感じがする。

△意見9

私の考えでは、関わっている方たちがグループで活動されていて、私個人では募金に応じることくらいのことではできると思う。みどり・環境の中でプロジェクトチームとして組めるのであればよいのだが、そういう見通しを立てた上での話でないところとちょっと。具体的に進めたいという気持ちは分かるので、そういう具体的なことだったら募金に応じるとか、そういう形で訴えていただければ、私はそういうことには応じたい。今皆さんがおっしゃったように、地区協としてどうこうというのは積極的には考えられない。

・事務局

一点だけよいか。募金のことだが、地区協議会が前面に出て募金活動をするというのは疑義があるので、現実的に難しいと思う。実は戸塚の地区協議会で募金をやろうかという話もあったが、制約があって難しい。区から補助金をいただいている、そういう活動をしながらあえて募金についても本当にその活動に使うかどうかなかなか難しい部分もあるので、それを監査したりどうするかってなりますから、そういうことを考えても地区協を前面に出しての募金は基本的には出来ないと考えていただきたい。

△意見10

何もしないで手をこまねている、ケージを購入して云々というのは少しハイジャンプだと思っている。その前に、例えば、ポスターなり、それから、主催と共催、後援ということ言えば、後援、共催という形をとれるような応援の仕方もあるのではないかと。例えば、ポスターを作って、それを皆さんが配布するときに応援と一緒に配るとか、違う視点で地区協として動けることがあればご協力することから始めたらよいと思う。

■質問8

先程、3町会くらいでしたか、協力を得ているとおっしゃっていたが、どのような協力を得ているのか。

●回答8

東町会ですと、聖公会という教会があるのだが、そこで猫にエサを与える方、また、猫を捕まえて避妊する方、皆さん集まって話し合いをしようという会を開いてくださって、その中でいろんな意見、困っている方、ようすにお互いの立場の話し合いをする。そういう話をしている中で、これ以上猫を増やしたくないというのは同じだ。じゃあどうしようかというところで、できるところをやろうと、猫を手術しても手術しただけでは猫が本当に減っていったか分からない。こういうときに初めて、皆さんに嫌われているエサやりさんという人がいるのだが、エサやりさんに自分がエサを与えている地域の猫の数を把握していただいて、新顔の猫が入ってきたら連絡をもらって捕まえる。そして今年10匹だった猫が5匹になる。こうやって計算していく。だからその時に各町会で、猫の会が立ち上がったと、何丁目何番地のところに、何月何日に猫の捕獲が入っ

て、何匹の猫の手術が終わったということを町会の掲示板に貼ってもらう。なかなか掲示板を見る方も少ないが。あとは各町会に活動報告書を町会長にメールでお送りして、お宅の町会のこういうところでこういう人間が動いてこうなりましたという報告を保健所と町会に出す。やはり、この活動を続けていく中で、いろいろやっても突き当たるところもあり、続けられない方も出てきてしまう。結局、一回減るのだが、誰からも協力を得られないまま引越したりとか亡くなれたりとか、そういう状態で増えたり減ったりがある。私のような人が10年に一度くらいでらしい。そういう人が来た時にある程度は減るのだが、その人が死んでしまったり、引越してしまったりして引っ張っていく人がいなくなるとまた猫が増えてしまう。今はこれがずっと続くようにいろんな団体がこの落合の地域にはいらっしやるので、その団体の方から、地区協がやっていると聞いたのでお手伝いをしたいという話が今出ている。その方に地区協に入りませんかという話もしたのだが、他にも区の関係の団体に入っていて忙しいというようなこともあった。まずは、いろんな方と話し合いをした中で、いろんな地域の問題を皆で解決していこうじゃないかということで昨日の話は終わっている。

・司会

時間もだいぶ経ったので、猫問題についてはこの辺にしたいと思う。最後に、みどり・環境部長お願いします。

・みどり・環境部長

大体の流れとしては、もう少しPR活動をしようということだ。本日いただいたご意見を部会でもう一度練って、例えば、啓発活動の仕方等をもう少し考えたいと思う。ありがとうございました。

3. その他

・司会

NPOと地域との交流事業の件で、本日の役員会に新宿区地域調整課の課長がみえた。内容と日程について話りたいので、お聞きください。

・代表

NPOと地域との交流事業を簡単に説明すると、地域、我々地区協とNPOと共に協力し合って、この地域の諸問題の解決をしたいという趣旨だ。先程の役員会において地域調整課の方から話をいただいた。まず、NPOの3団体くらいを区の方から推薦して、落一の地区協の中にふるさと落合、安全・安心、みどり・環境、この三つに見合ったNPOを紹介しますよと、それでお互いにいろいろ話をして、これから体制をつくっていききたいということだった。役員会で各部長から、こちらからNPOの団体を選べるのかという質問が出たが、それは構わないということだった。配布した新宿区NPO登録団体リストの中から各部会でどのNPOと意見交換したいか選んでいただきたい。各部長に部会を開いていただいて、委員の方と決めていただく。予定としては、1月の下旬から2月の中旬くらいに会を開きたい。先程の役員会では、二つの希望日を出した。まず、1月29日(火)18時半から21時まで。第二希望が、2月1日(金)18時半から21時まで。この2時間半くらいの予定でお互いに意見交換をしたい。人数は50名くらいを予定しているので、そっくりうちの地区協委員が参加しても構わない。皆さんの都合もあるだろうから、この二つの希望日のどちらかを選びたい。また、こちら希望日を選んでNPOの方の都合もどうなるか分からないが、一応、第一希望、第二希望ということで進めていきたい。企画案の裏にプログラム案が出ている。また、今までNPOと地域(大久保と落合第二)との交流会の資料も配布しているので参考にさせていただきたい。一番大切なことは、自分たちに見合ったNPOを選ぶということだ。

・みどり・環境部長

「新宿区NPO活動登録団体リスト」に丸がついているところがある。例えば、19番の特定非営利活動法人粋なまちづくり倶楽部。他にあと二つほどある。これは行政の方から提案があったものである。もちろんこれらの団体にするというのではなく、こういう団体がありますよということのようだ。

・代表

日程のことだが、ここでこちらの第一希望。第二希望を決めたい。1月29日(火)18時半から21時まで、こちらで参加できる方、挙手をお願いします。

・22名の挙手があった。

・代表

次に、2月1日(金)に参加できる方、挙手をお願いします。

・20名の挙手があった。

・代表

人数の多かった1月29日(火)を第一希望日、2月1日(金)を第二希望日とする。役所の方の都合もあるが、こちらの希望日はこれに決定する。

・司会

資料の中にも書いてあるのだが、参加費用がかかる。一人300円。場所はこの第一集会室だ。

・事務局

その他、希望される方、つまり、NPOと地区協委員以外の方も参加できる。チラシは地域調整課で作る。

△意見1

地区協とはなんだろうという問題について意見がある。地区協フェスタで、オリンピック招致賛成の署名を1階でとっていた。実行委員会の反省会でも言ったのだが、この件は実行委員会でも一切話がなかった。私たちはスタッフで上の階にいたので後から参加者に聞いた。住民の自治意識を高めて、地域課題の解決に集まっているのが地区協だと思ってきたので、フェスタで実行委員会でも知らないことが行われたということに対してショックを受けた。この問題は皆さんで考えていただきたいということを一言いいたいと思う。それから、区政参加とかこの地域に起こることについては事務局から報告をお願いしたい。皆さんいろんなところに関わっている方が多いので情報が入るのかもしれないが、中央図書館の移転の後に、地域図書館ができることが決まっていたのだが、それが介護施設と保育園との合築になったということを知った。そういうことも地域の情報は事務局から地区協に知らせていただきたい。

⇒落合第四小学校周年記念実行委員長

落一小と落四小の周年行事は無事終わった。ありがとうございました。

<決定事項>

NPOと落一地域との交流事業の希望日は、第一希望を1月29日(火)、第二希望を2月1日(金)とする。

<決定事項>

1月の全体会は、1月8日(火)18時から行う。